| 学校番号 | 218 |
|---|---|

平成 31 年度　芸術科

| 教科 | 芸術 | 科目 | 音楽Ⅱ | 単位数 | ２単位 | 年次 | ２年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 高校生の音楽②　（教育芸術社） | | | | | | |
| 副教材等 | New　Recorder　Library　（教育出版） | | | | | | |

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・音楽Ⅰの学習を基礎にし、能力・適正、興味・関心等に応じた活動を展開します。
・学習の到達度は、授業で配布するワークシートや実技テストで評価します。
・一人ひとりに応じた学習を充実し、音楽を演奏し楽しむことで感性的な認識を一層深めていきます。
・音楽が、生涯ずっと、みなさんの心の支えとなり、生きていく力となることをねがっています。

2　学習の到達目標

音楽の諸活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現の能力と主体的な鑑賞の能力を伸ばし、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と深く関わる資質・能力についての理解を深める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

| 観点 | a:音楽への関心・意欲・態度 | b:音楽表現の創意工夫 | c:音楽表現の技能 | d:鑑賞の能力 |
|---|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 音楽を愛好し、音や音楽、音楽文化に関心をもち、意欲的、主体的に音楽活動を行い、その喜びを味わおうとする。 | 感性を働かせ、音楽の諸要素と音楽のよさや美しさを理解する。創造的な音楽活動の工夫をし、音楽をどのようにつくるかについて表現意図をもっている。 | 創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、自己のイメージをもち、創造的に表している。 | 音楽を形づくっている要素とそれらの働きが生み出す特質や雰囲気などを理解しながら、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。 |
| 評価方法 | 観察<br>ワークシート<br>出席状況<br>授業態度 | 観察<br>ワークシート | 演奏の聴取<br>作品提出 | 観察<br>ワークシート |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 主な評価の観点 | | | | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | a | b | c | d | | |
| 1学期 | こめられた思いを生かした歌い方を工夫しよう | 【歌唱】<br>見上げてごらん夜の星を<br>早春賦 | ○ | ○ | ○ | | a:曲想と歌詞の内容や楽曲の背景との関わりを理解し、こめられた思いを生かした歌い方の学習に主体的に取り組もうとしている。<br>b:音楽を形づくっている要素とそれらの働きが生み出す特質や雰囲気などを理解しながら曲種に応じた発声の特徴を生かした音楽表現を工夫し、どのように歌うかについて表現意図をもっている。<br>c:曲種に応じた発声の特徴を生かし、音楽表現をするために必要な歌唱の技能を身に付けている。 | 観察<br>ワークシート<br>演奏の聴取 |
| | いきいきとリズムにのってアンサンブルを楽しもう | 【器楽】<br>クラッピングカルテット<br>第2番 | ○ | | ○ | | a:アンサンブルに関心をもち、その持ち味を生かして演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。<br>c：奏法の特徴と表現上の効果との関わりを理解し、表現を工夫する技能を身に付けている。 | 観察<br>ワークシート<br>演奏の聴取 |
| | | 【創作】<br>ボディーパーカッションに挑戦しよう | | ○ | | | b：リズムの特徴や反復、変化を理解し、その働きを理解しながら、表現したい音楽をイメージして、どのように音楽をつくるかについて表現意図をもっている。 | 観察<br>ワークシート<br>演奏の聴取 |
| | 全体の構成、楽曲の背景を理解して聴こう | 【鑑賞】<br>行進曲<br>威風堂々<br>第1番<br>(エルガー) | ○ | | | ○ | a:楽曲の文化的・歴史的背景や、作曲者及び演奏者による表現の特徴を理解し、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。<br>d：音楽を形づくっている要素と、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを理解しながら、楽曲の文化的・歴史的背景や、作曲者及び演奏者による表現の特徴について理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。 | 観察<br>ワークシート |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2学期 | 曲の雰囲気に合った歌い方を工夫して歌おう | 【歌唱】<br>イエスタデイ | ○ | ○ | ○ | | a:曲種に応じた発声の特徴と表現上の効果との関わりを理解し、表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組もうとしている。<br>b:音楽を形づくっている要素とそれらの働きが生み出す特質や雰囲気などを理解しながら曲種に応じた発声の特徴を生かした音楽表現を工夫し、どのように歌うかについて表現意図をもっている。<br>c:様々な表現形態による歌唱の特徴と表現上の効果との関わりを理解し、表現を工夫して歌うために必要な歌唱の技能を身に付け、発展的に捉え、創造的に表している。 | 観察<br>ワークシート<br>演奏の聴取 |
| | リズムの特徴を感じながら楽器の音色を工夫して合奏を楽しもう | 【器楽】<br>情熱大陸 | ○ | ○ | ○ | | a:様々な表現形態による器楽の特徴を理解し、それらを生かし、表現を工夫して演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。<br>b:音楽を形づくっている要素とそれらの働きが生み出す特質や雰囲気などを理解しながら、様々な表現形態による器楽の特徴を生かした音楽表現を工夫し、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。<br>c:楽器の音色や奏法の特徴と表現上の効果とのかかわりを理解し、音楽表現をするために必要な器楽の技能を身に付け、創造的に表している。 | 観察<br>ワークシート<br>演奏の聴取 |
| | 文楽に親しむ | 【鑑賞】<br>文楽(人形浄瑠璃)<br>「義経千本桜」から<br>＜道行初音旅＞ | ○ | | | ○ | a:我が国や郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴について理解を深め、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。<br>d:音楽を形づくっている要素と我が国や郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴を理解し、それらの価値を考えたりして、文楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。 | 観察<br>ワークシート |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 音階を選んで<br>旋律を作ろう | 【創作】<br>日本の色々な音階より選択し、旋律を創作 | ○ | ○ | ○ | | a：我が国や郷土の音階の特徴を理解し、イメージをもって音楽をつくる学習に主体的に取り組もうとしている。<br>b:我が国や郷土の音階の特徴とその醸し出す雰囲気を理解しながら、どのように音楽をつくるかについて表現意図をもっている。<br>c:イメージに沿った旋律やリズムの組み合わせ方、記譜の仕方など必要な創作技能を身に付け、創造的に表している。 | 観察<br>ワークシート<br>演奏の聴取 |
| 3学期 | 日本の歌を<br>合唱してみよう | 【歌唱】<br>うみ<br>シャボン玉 | ○ | ○ | ○ | | a:様々な表現形態による歌唱の特徴（合唱のよさや持ち味）を理解し、それらを生かして歌う学習に主体的に取り組もうとしている。<br>b：旋律、ハーモニーとそれらの働きが生み出す特質や雰囲気を理解し、歌う喜びや楽しさを味わい、どのように歌うかについて表現意図をもっている。<br>ｃ：様々な表現形態による歌唱の特徴を生かした音楽表現をするために必要な歌唱の技能を身に付け表現を工夫して歌い、創造的に表している。 | 観察<br>ワークシート<br>演奏の聴取 |
| | ギターアンサンブルに<br>挑戦しよう | 【器楽】<br>スタンドバイミー | ○ | ○ | ○ | | a:楽器の音色や奏法の特徴と表現上の効果とのかかわりを理解し、それらを生かし、表現を工夫して演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。<br>b：音楽を形づくっている要素とそれらの働きが生み出す特質や雰囲気などを理解しながら楽器の音色や奏法の特徴を生かした音楽表現を工夫し、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。<br>c：楽器の音色や奏法の特徴と表現上の効果とのかかわりを理解し、音楽表現を工夫し、創造的に表している。 | 観察<br>ワークシート<br>演奏の聴取 |
| | 繰り返される旋律に注目しながら<br>曲想の変化を感じ取ろう | 【鑑賞】<br>管弦楽のためのアダージョ<br>（バーバー） | ○ | | | ○ | a:楽器の音色の特徴と表現上の効果との関わりを理解し、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。<br>d：音楽を形づくっている要素とそれらの働きが生み出す特質や雰囲気などを理解しながら楽器の音色や奏法の特徴を生かした音楽表現を工夫し、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 | 観察<br>ワークシート |

※　表中の観点について　a:音楽への関心・意欲・態度　　b:音楽表現の創意工夫
　　c:音楽表現の技能　　d:鑑賞の能力

※　原則として、「歌唱」「器楽」「創作」の分野は a、b、c の３観点で、「鑑賞」の分野は a、d の２観点で評価をする。

※　年間を通して全ての観点について評価することとなるが、学習内容（題材）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。